



2019 Rule Book



更新履歴

2018年8月21日 更新



Fuji International Speedway Co.,Ltd.

大会情報

大会名称

Eco Car Cup 2019 (エコカーカップ 2019)

大会概要

エコカーカップには 60 分耐久と 180 分耐久それぞれ素性の違う 2 種類のレースがあり、目的に合わせてご参加頂けます。また両方のレースを制したチームにはエコカーレースの最高峰である証 “Master of Eco Car” の称号を与えています。

Enjoy 60 とは？

初心者や未経験者でも “十分安全に走行できるであろう ラップタイム” 4 分 45 秒 が設定された安全重視の 1 時間耐久レースです。高速走行が許されていない反面、低速走行による低燃費走行が要求されるため、速く走るためのドライビングテクニックより、むしろエコランテクニックが要求されるレースです。このレースで消費される燃料は、何と 1.5ℓ ～ 2ℓ 程度です。

Challenge 180 とは？

Enjoy 60 同様、初心者でも参加できる安全重視のレースですが Enjoy 60 との大きな違いは、ラップタイムと周回数、そしてピット回数に厳しい規定値が設けられていること。

最短ラップタイムは 3 分 15 秒、周回数は 50 周、ピット回数は 5 回。この規定により燃費重視でゆっくり走ると周回数不足に陥り、周回数重視で速く走ると燃費不足に陥るとも厄介なルール。それに加えてレース順位も結果に大きく影響するためレース中は全体のポジションを把握しながらレースを展開していく必要があり、レースの駆け引きは勿論エコランテクニック、ドライビングテクニック、ナビゲーションテクニック、ピットワークなどの総合力が要求され非常に奥が深く、またレースの醍醐味を存分に味わう事が出来ます。

Enjoy60 & Challenge180 の最高峰冠！

両レースに参加したチームの内、総合最高位のチームには “Master of Eco Car” の称号を与えます。

PHV クラス新設！

このクラスは燃費に配慮したエコ走法は無論、コースの高低差を利用した EV 走法も要求され、更には綿密なバッテリーマネージメントが必要なマニアックなクラスです。

主催

富士スピードウェイ株式会社 (代)0550-78-1234

大会事務局

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694 0550-78-2255 (事務局直通)

Eメール ecocar@fujispeedway.co.jp

取材およびメディア関連

富士スピードウェイ株式会社 東京営業所 営業業務課 03-3556-8524

参加資格

- 1) ドライバーとパッセンジャーは、有効な自動車運転免許証を保有すること。
- 2) 2名以上でチームを構成してください。なお上限人数に規定はございません。
- 3) 同一ドライバーが複数のチームのドライバーを兼任することは出来ません。

【パッセンジャーに関する注意】

パッセンジャーとは、走行中に周囲の安全確認やタイム計測などを行いドライバーの補佐として安全にレースを運行することを目的として同乗します。「試乗」や「体験走行」を目的に同乗することは出来ません。また走行の際乗車人数はドライバー1名+パッセンジャー1名の合計2名が乗車定員となります。

参加料金

開催種目	参加料金
練習会（大会前日に開催）参加確認 13：30、走行 16：00～17：00	18,500 円
Enjoy 60（1 時間耐久）	19,500 円
Challenge 180（3 時間耐久）	50,500 円
Master of Eco Car（60 と 180 両レースに参加場合）	60,500 円

- ✓ 富士スピードウェイ入場の際し入場料金が必要です。大人 1,000 円、中学生以下と FISCO ライセンス保有者は無料。
- ✓ 練習会について。初心者の方やサーキット初走行の方は経験しておく事を強く推奨します。走行するドライバーとパッセンジャーは、ヘルメット、グローブ、運動靴、長袖長ズボン（またはレーシングスーツ）を着用してご参加ください。
- ※ ダブルエントリーとは、両方のレースに同一車両、同一チームで参加するものとし、尚且つゼッケン番号も同一であることが条件となります。

参加申込からレース参加までの流れ

- 1) 大会内容を確認する。
- 2) 大会 WEB ページより E メールに必要事項を記入し送信する（申込内容が公式プログラムとして印刷される為、チーム名、氏名などを間違えないようご注意ください。）
- 3) 事務局より「確認メール」の返信を受け取る。（**申込メール送信後、3 日経っても返信が無い場合は何らかのメールエラーだと思われる。その際はお電話にてご確認ください。**）
- 4) 参加料金を指定口座へ振り込む。
- 5) WEB のエントリーリストに掲載されたゼッケン番号を用意しておく。
- 6) 当日現地に集合し、参加確認にて発信機を受け取る。（受理証や整理券は発行致しません）
- 7) レースに参加。
- 8) 表彰式でトロフィーを受け取る。
- 9) 自由解散。

当日の持ち物

- 1) ルールブック
- 2) 参加誓約書
- 3) 参加車両
- 4) ヘルメット・グローブ・運動靴・長袖長ズボン（またはレーシングスーツ）
- 5) 簡単な工具（エアゲージやホイールナットの確認作業具など）
- 6) ガムテープ(発信機の固定に必要)
- 7) 印鑑
- 8) 運転免許証
- 9) ゼッケン番号



- ① 当日以下のゼッケンベースを 2 枚配布します。ゼッケンは 200mm×400mm の枠に入るサイズをご用意ください。数字の色に指定はありませんが認識できる色で制作ください。

配布するゼッケンベースのサイズ



- ② ゼッケンベースは左右ドアの計 2 面必須です。お好みによりボンネットに自分のゼッケンを貼っても構いません。

事前準備

- 1) オイル、ベルト、ブレーキ、タイヤなど事前に基本整備を済ませておいてください。著しいブレーキの磨耗やタイヤのスリップマークが出ている状態では走行できません。
- 2) フロアマット、ペットボトルなど、走行中に車内で移動や飛散するとと思われる物は降ろしておいてください。レーダー探知機、カップホルダーなど暫定的に固定されている物などは必ず取り外してください。またラップトップ PC などを車内で保持して走行することは禁止となります。
- 3) 車載工具に付属している「牽引フック」を取り付けてください。取り付け方法はオーナーズマニュアルに従ってください。
- 4) タイヤ
 - A) 主催者が通称「S タイヤ」や「競技専用タイヤ」と判断した製品は使用できません。

以下はそれらの一例です。

使用できないタイヤ一例（2014年6月現在）		
タイヤメーカー	ブランド名	タイヤ名称
横浜ゴム	ADVAN	A050/A049/A048
住友ゴム工業	FALKEN	RX-VII/RS-V04
	FOMULA-R	D93J
	DIREZZA	02G/03G
ブリヂストン	POTENZA	RE11S/RE55S
東洋ゴム	PROXES	R888
HANKOOK	Ventus TD	Ventus TD

- B) 一日を通し、使用できるタイヤは1セットとなります。但しバーストやパンクなど走行不能な場合においては、主催者の承認後、タイヤを交換することができます。
- C) 使用できるタイヤサイズに制限を設けています。

タイヤの外径が純正規格品より小さなタイヤを使用しないでください。小径サイズのタイヤを使用するとメーターで算出される走行距離に誤差が生じ正しい燃費が算出できなくなります。

純正で使用されているタイヤサイズと**同等**、または**それより外径が大きいサイズ**のタイヤをご使用ください。

大会協賛ステッカー

参加受付時に協賛各社のステッカーを配布いたします。
指定場所以外に貼ることは出来ません！決められた場所に貼っておいてください。（写真は一例）



ピットと個室の使用法

ピット(個室含む)は1枠に対し数チームで割り振られ、全て共同使用となります。また使用するピット番号は事前にWEBのエントリーリストに掲載されます。各自確認の上指定されたピットをお使いください。

ピット内で簡単な食事は許可していますが周囲に迷惑が掛からないようご配慮ください。

【禁止事項】

- ① ピットや個室の独占使用
- ② 給油作業、ガソリン保管（給油はガソリンスタンドで行ってください）
- ③ パテーションの設置
- ④ 炭やマキを使用した火気の使用
- ⑤ 喫煙
- ⑥ 負荷のかかる電気製品の使用(コンセントを使用する場合)

ピットロード・作業エリア・サインエリアの使用法

ピットロードは自動車の走行が優先されます。サインエリアへの横断の際は周囲を確認してください。

作業エリアはピットインの交代作業に使用する場所です。車の停止・発進・ドア開放時は十分注意を払いピットクルーと連携して安全に運行ください。

【禁止事項】

- ① 指定ピット(作業エリア含む)以外を使用
- ② お子様の独り歩き(保護者同伴必須)
- ③ ピットロード上での作業
- ④ 作業エリア、サインエリアでの飲食
- ⑤ 喫煙



クラス一覧表

部門	クラス名称	対象車種一例 (掲載されていない車両もあり)
ガソリン	G-1	軽自動車 (G-1 クラスは Enjoy60 のみ参加可能)
	G-2	BMW1/2 シリーズ(X 含む)、メルセデスベンツ A クラス、VW ポロ、VWUP!、AUDI A1/A3/A4(1.0L,1.4L) ロードスター(ND)、オーリス(ターボ)、ヴェイツ、マーチ、Fit、フリード、シビックタイプ R(EK9)、ルノールーテシア(1.2t)、
	G-3	BMW3/4 シリーズ(X 含む)、メルセデスベンツ C クラス、VW ゴルフ、VW シャラン、AUDI A3/A4/A5/A6(1.8,2.0)、シビックタイプ R(EP3 以降)、レクサス IS、RC など MINI JCW、DS3、ルノーメガーヌ RS、ルノールーテシア(1.6t)
	G-4	BMW5/6/7 シリーズ(X 含む)、メルセデスベンツ E/S クラス、AUDI A6/A7(3.0)、クラウン、フーガ、レクサス LS など
ディーゼル	D-1	デミオ アクセラ(1.5)
	D-2	アクセラ(2.2)、アテンザ BMW320d、メルセデスベンツ E 220d、ボルボ V40-T3
	D-3	マセラティギブリ メルセデスベンツ E 350
ハイブリッド	HV-1	アクア、ヴェイツ HV、シエンタ HV、ノート e-POWER、インサイト 1
	HV-2	プリウス(10、20) インサイト 2、CR-Z、シビック HV アクセラ HV
	HV-3	プリウス(30、α)、オーリス HV、カローラ HV、レクサス CT200h Fit HV、ヴェゼル HV、フリード HV、
	HV-4	プリウス 50、C-HR

ハイブリッド	HV-5	レクサス HS、SAI レクサス IS300h インプレッサ HV
	HV-6	スカイライン HV BMW アクティブ HV メルセデスベンツ S クラス HV
	SHV	競技用車、車検対応外の車両が対象
プラグイン ハイブリッド	PHV	プラグイン車対象のクラスとなります。 【車種一例】 プリウス PHV、アウトランダー-PHEV、アウディ A3 e-tron、BMW S30e、 メルセデス C350e、VW ゴルル GTE など…… 家庭で充電できるプラグイン車全般を対象としています。

【捕捉】

- 「対象車両」は現状掲載されていない車両も多々あります。また追加を希望する車両があればお問い合わせください。
- 低燃費技術が採用されている車両が参加対象となります。
- **メーカー純正の状態でメーターパネルに「平均燃費と、その走行距離」が表示できない車両は参加できません。**また車種やグレードにより表示できない場合や、その平均燃費に対しての走行距離が表示できない車種もあります。必ず現車を確認してからお申込みください。
- 車両には有効な車検証が必要です（SHV クラスを除く）。
- 車高が高いワンボックス車（一部機種除く）や RV 車は参加対象外となります。

車体の変更改造範囲について(車両規定)

- 1) SHV クラス(スーパーハイブリッドクラス)を除き、全てのクラスは車検に対応した改造範囲に限ります。
- 2) 車検で改造申請を行う必要がある改造や、競技用部品の装着車両は SHV クラスでご参加ください。
- 3) SHV クラスを除き、シートや内装の取り外しは禁止となります(金属や通電する素材の露出は禁止)。
- 4) フロントグリルにテーピングを施す際は、元の形状を変更させないように処理してください。形状を変更させるテーピングは禁止となります(SHV を除く)。

パワープラントの改造範囲について(車両規定)

- 1) 全クラスにおいて動力バッテリー、動力モーター、それらのメインハーネスの加工、変更、追加は禁止。
- 2) エンジン・ミッションと、それらのコントロールユニットの改造や変更禁止(SHV を除く)。
- 3) ECU の書き換え禁止(SHV クラスを除く)。但しメーカー純正のバージョン・アップデートは可。
- 4) ECU を任意にコントロールできる装置や診断装置、ODB テスターを車両に接続したままでの走行は禁止。
- 5) 各種メーターとデータロガーの取り付けは可(ODB コネクターより接続可)。但し ECU を任意にコントロールできる機能が含まれていないこと。
- 6) スロットルコントロールユニットの取り付けや、スロットルボディを変更した車両は SHV クラスでご参加ください。
- 7) ノーマルクラスにおけるパワープラントに関連し変更できる部品は以下の通りです。

バッテリー(動力バッテリーは不可)、スパークプラグ、エアクリナー(ボックス変更不可)、オイル類、グランドワイヤーの追加。

レースの手順

1) 参加確認

参加者の最終確認と発信機等を配布します。

参加選手は「参加誓約書」を持参し、時間内に受付へ来てください。なお FISCO ライセンス保持者は必ずご提示ください。

2) 車両検査(走行前検査)

係員が各ピットを巡回し参加車両の最終確認を行います。確認作業に備え事前に準備しておいてください。

主な確認事項は下記の通りです。

- ✓ 不要な荷物を車内から降ろしましたか？
- ✓ 牽引フックが正しく装着されていますか？
- ✓ 発信機は正しく装着されていますか？
- ✓ 外装やゼッケンに異常はありませんか？
- ✓ ガソリンは十分に入っていますか？

その他、必要に応じ車検員がドライバーに質問するので車両確認に立ち会ってください。

【重要!! 車両検査(走行前検査)とは】

走行に必要な基準を満たしているか、第三者により最終確認を行うものです。参加クラスに合致しているか否かを確認するものではございません！参加車両は予めクラスに合致した状態でお申込み、そしてご来場ください。

3) ブリーフィング

参加者は参加必須となります。コースコンディションや注意事項などの最終確認を行います。参加必須となります。なお Enjoy 60 はグリッドの抽選も行います。

4) 練習走行 (Enjoy 60)

約 20 分間の同乗走行による練習走行を行います。

ラップタイムは 4 分 00 秒以上で走行してください。これより速いタイムでの走行は禁止となります。

走行中の情報や経過時間などは **FM79.7 c h** で放送され、またピット内のモニターにも表示されます。

※PHV クラス：練習および予選は行いません。決勝グリッドは抽選で決定します。

練習走行とタイムアタック (Challenge 180)

20～30 分間の単独走行（同乗不可）による練習を含んだ予選タイムアタックを行います。この間はタイム計測を行いベストタイム順に決勝グリッドが決定します。

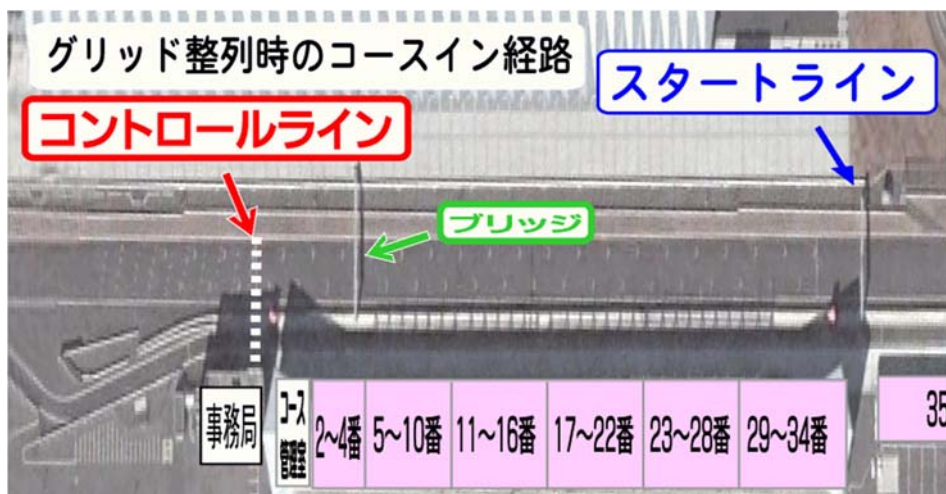
給油が必要な場合はオフィシャルの承認を得た後にガソリンスタンドで給油します。その他の給油方法は一切認められません。

走行中のラップタイムや経過時間は、**FM79.7 c h** で放送され、またピット内のモニターにも表示されます。

出走しないチームは競技団の判断によりグリッドを決定します。

5) 決勝グリッド整列 (Enjoy 60, Challenge 180)

- A) ピットクルーは徒歩でコースに進入し、自分のグリッドに配置する。Enjoy 60 及び PHV クラスのグリッドは抽選にて決定。
- B) グリッド整列の案内が流れたらコースインして自分のグリッドに配置する。なお時間内に移動できなかった車両はピットスタートとなります。



スタートライン（スタートブリッジ）：スタートシグナルや警告信号を掲示。

ブリッジ（コントロールブリッジ）：レースタイムの掲示。レースコントロールの掲示。

コントロールライン：白くて太い破線。走行タイムの計測ポイント。

- C) **“とても重要”**ドライバーは、**係員と共にメーターを確認！**
係員は「オドメーター」の距離を記録し「燃費計」がリセットされている事を確認します。
- D) 放送が流れたら、メカニックなどはグリッドより退去。
- E) 全車両がグリッドに整列したらスタートの進行に入る。
- F) FM ラジオ（79.7 c h）の電源を入れてください。

6) レースのスタート (Enjoy 60、Challenge 180)

- ① 全車両がグリッドに整列した後に「スタート 5 分前」と書かれたボードが掲示される。
- ② 「スタート 3 分前～1 分前」のボードが順次掲示される。
- ③ スタートシグナルの赤信号 1 個が点灯する。
- ④ 赤信号が 2 点灯→3 点灯→4 点灯→5 点灯と続き、全てが消灯したら一斉にスタートする。なお、赤信号が消える前に車両が動くと反則となりペナルティの対象になるので注意してください。

【注意事項】

少なくともスタート 1 分前には、シフトレバーが「D」に入っていることを確認ください！

スタート時、「ニュートラル」に入っていることにより発進できない車両が見受けられます。スタート直後の追突事故を誘発する可能性があります。ご注意ください！

7) レースのルール (Enjoy 60)

決勝レースは 1 時間耐久となります。

レース中にドライバー交代などを行いながら走行します。そのルールは下記の通りです。

- ① レース中に 2 回以上のピットインを行ってください。ピットインが規定回数に満たない場合はペナルティが課せられます。
- ② 最短ラップタイム(基準タイム)は 4 分 45 秒
- ③ このタイムを超えて(速く)走ることは出来ません。これを超える毎にとペナルティの対象となります。

なお、レースのスタートから始めの1周の最短タイムは4分00秒とします。

- ④ ドライバーやパッセンジャーの交代を行う際は、下記の手順を厳守下さい。
ピットインしたら、①指定されたピット前に停車→②エンジン停止→③ドライバーとパッセンジャーの降車→④ドライバーとパッセンジャーの乗車→⑤ピットアウト。この手順を踏まない場合やドライビングスルーなどはピットインとしてカウントされません。
- ⑤ ピットイン及びアウト時に急停止や急発進をしばしば見かけます。これらは危険行為とみなしオフィシャル判断の下ペナルティとなる場合があります。
- ⑥ ピットロードは60km/h以下を厳守してください。
- ⑦ レース中のラップタイムや経過時間などの情報は、ピット内のモニターに表示され、また同時にFMラジオでも放送されます（FMラジオは場内放送を中継しアナウンサーが状況をお知らせしますが、全ての車両の状況をお伝えできるものではありません。）
- ⑧ レース中の給油は禁止となります。そしてガス欠により車両保管場所に辿り付かなかった場合は失格となります。

レースのルール (Challenge 180)

決勝レースは3時間耐久となります。

レース中にドライバー交代などを行いながら走行します。そのルールは下記の通りです。

- ① 義務周回数50周。義務周回数に満たない場合はペナルティが課せられます。
- ② レース中に5回以上のピットインを行ってください。ピットインが規定回数に満たない場合はペナルティが課せられます。
- ③ 最短ラップタイム（基準タイム）3分15秒。
このタイムを超えて（速く）走ることは出来ません。これを超える毎にとペナルティの対象となります。
なおレーススタートから始めの1周の最短タイムは3分00秒とします。
- ④ ドライバーやパッセンジャーの交代を行う際は、下記①～④の手順を厳守下さい。
ピットインしたら、①指定されたピット前に停車→②エンジン停止→③ドライバーとパッセンジャーの降車→④ドライバーとパッセンジャーの乗車→⑤ピットアウト。この手順を踏まない場合やドライビングスルーはピットインとしてカウントされません。
- ⑤ ピットイン及びアウト時に急停止や急発進をしばしば見かけます。これらは危険行為とみなしオフィシャル判断の下ペナルティとなる場合があります。
- ⑥ ピットロードは60km/h以下を厳守してください。
- ⑦ レース中のラップタイムや経過時間などの情報は、ピット内のモニターに表示され、また同時にFMラジオでも放送されます（FMラジオは場内放送を中継しアナウンサーが状況をお知らせしますが、全ての車両の状況をお伝えできるものではありません。）
- ⑧ レース中に給油が必要な場合はオフィシャルの承認を得た後にガソリンスタンドで給油します。その他の給油方法は一切認められません。なおガス欠により車両保管場所に辿り付かなかった場合は失格となります。

8) 注意信号、レース中断について

- ① 黄旗が振られている間は追い越し禁止となります。極端な低速車両の追い越し以外は規制区間を厳守下さい。なお規制解除は緑旗となります。
- ② 「赤旗」が掲示された際の手順
レースを一旦停止しなければならぬ場合には、各ポストより「赤旗」を提示します。赤旗を確認したら安全な速度でピットロードへ戻ってください。
 - 1) 各ポストより赤旗が提示される。
 - 2) 安全な速度でピットへ戻る。

- 3) 赤旗の間もレース時間に含まれます。またこの間にピット作業やドライバー交代もできます。
- 4) 走行準備が整っている方は、ピットエンドで待機(信号は「赤」)。後に、ここからレースが再開します。
- 5) ピットエンドの信号が緑になったらコースインし、レースが再開する。
- 6) 赤旗発動中も規定タイム、規定ピット、規定周回数は有効となります。

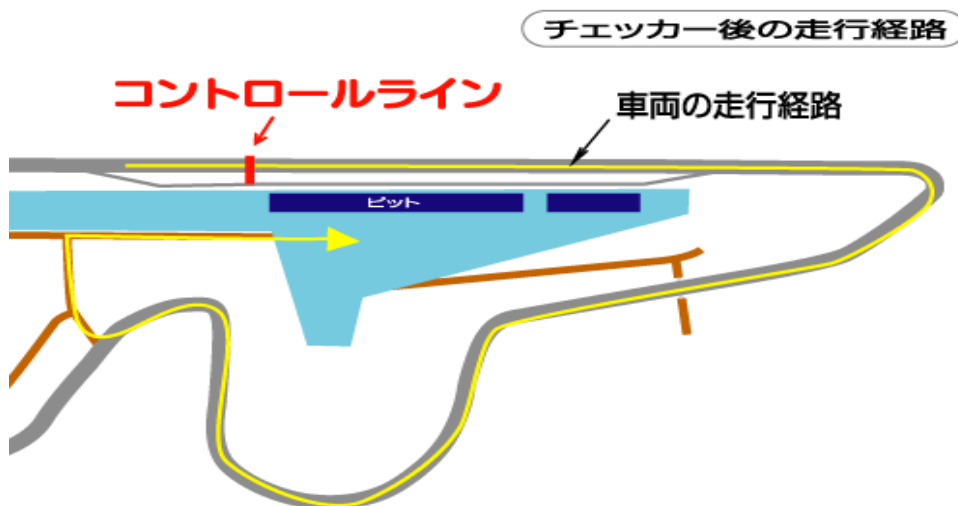
9) レースの終了 (Enjoy 60)

レースがスタートし 1 時間を経過した時点で総合 1 位のチームよりチェッカーが振られます。コントロールラインを通過した車両は直ちに減速し、ピットエンドよりパドックの車両保管場所へ移動しメーターの指数を係員が確認してからメーターをリセットします。なお車両保管場所まで自走必須となります。



レースの終了 (Challenge 180)

レースがスタートし 3 時間を経過した時点で総合 1 位のチームよりチェッカーが振られます。コントロールラインを通過した車



両はヘアピンコーナー(アドバンコーナー)中間の出口よりパドックの車両保管場所 (パドック図参照) へ移動しメーターの指数を係員が確認してからメーターをリセットします。なお車両保管場所まで自走必須となります。手押しや牽引はできません。

レースの終了 (60 と 180 のダブルエントリーチームを対象)

Challenge180 終了直後に車両保管場所でメーター指数を係員が確認し、そのままコースインしてグリッドに整列します。ピットに戻ることはできません。

10) PHV クラスに対する特別ルール

只今ルール制定中！今しばらくお待ちください。

<注意事項>

施設内に 200V の充電設備はございません。現地で利用可能な電源はピット内の 100V 家庭用電源のみとなります。

11) メーター指数の確認

車検員がメーター指数（オドメーター・走行距離・平均燃費）を確認します。それまでメーターに触れることが出来ません。さらに**ドライバーは確認作業に立ち会う義務があり確認終了まで車両から離れることは出来ません。**

12) レース結果の確定

Enjoy 60 は「決勝レース」+「燃費(燃料消費量)」+「ペナルティ」

Challenge 180 は「予選」+「決勝レース」+「燃費(燃料消費量)」+「ペナルティ」

それらを合算し、その合計ポイントが順位として確定します。よってポイント数が少ないほど順位は高いことになります。

【再審議】

メーター指数より算出された結果において主催者が「異常値」と判断した場合は、車両検査を踏まえて厳正なる審査を行い、最終結果を確定するものとします。

なお、メーター改ざんやプログラムの書き換えなど悪質な不正行為を行ったチームに関しては失格とし、以後富士スピードウェイ主催の大会に出場する権利を失うものとします。

13) レース出走方法一覧

	練習/予選	グリッド	決勝	レース	ピットイン
Enjoy60	同乗必須 4分00秒以上	抽選	同乗必須 4分45秒以上	60分	2回以上
Challenge 180	同乗不可 タイム制限なし	予選タイム順	同乗必須 3分15秒以上	180分 50周以上	5回以上

14) ポイント一覧表

Enjoy60のポイント換算

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	→
レース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	→
燃費	1	2.8	4.6	6.4	8.2	10	11.8	13.6	15.4	17.2	→

Challenge180 のポイント換算

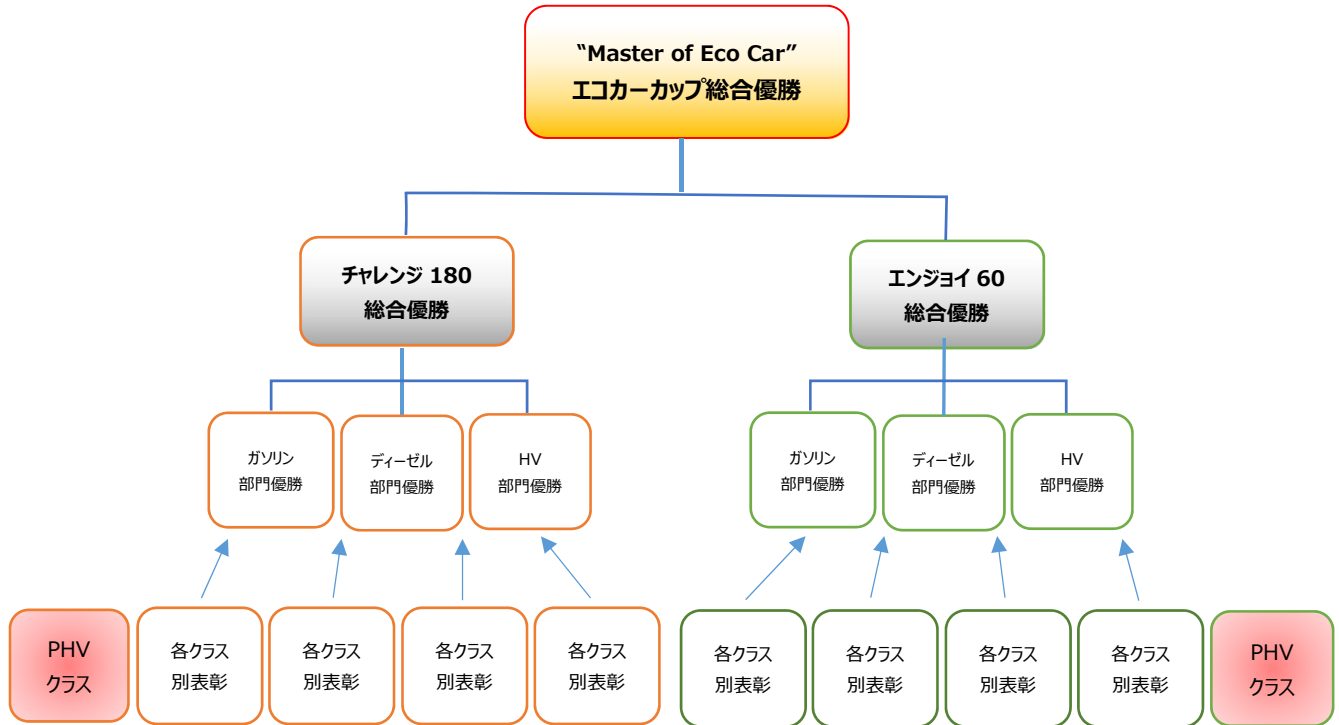
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	→
予選	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1	→
レース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	→
燃費	1	2.2	3.4	4.6	5.8	7	8.2	9.4	10.6	11.8	13	→

15) ペナルティ

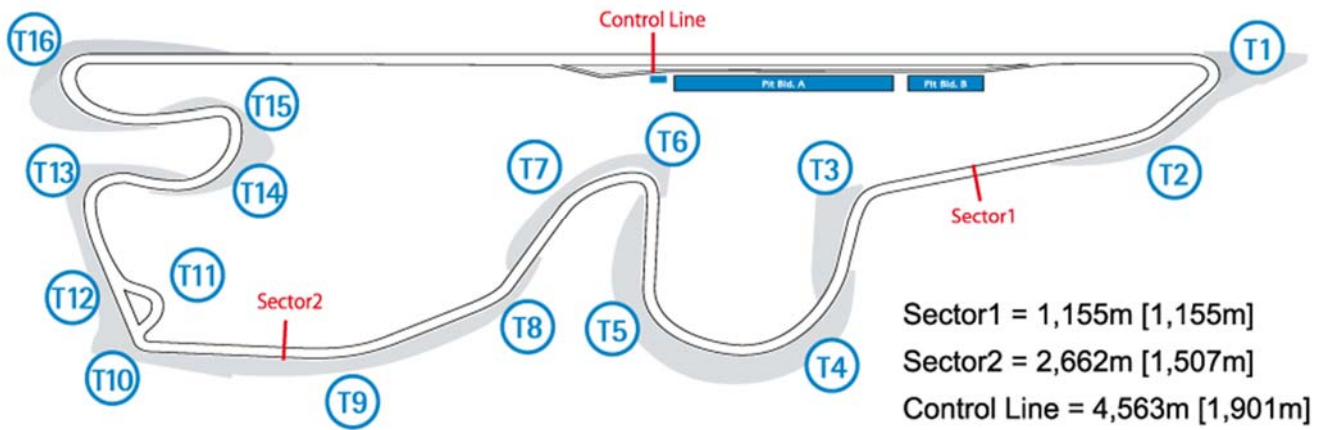
項目	ポイント数	具体例
ピットロード違反	10	ピットロードを 60km/h 以上で走行や危険な行為
ピットイン回数不足	10 (1 回)	ピットインの規定回数に満たない場合
周回数不足	10 (1 周)	規定周回数に達せずにチェッカーを受けた場合
ラップタイム超過	10 (1 回)	規定タイムを越えて走行した場合
フライングスタート	10	スタート時のフライング
ホワイトラインカット	5	コース入口と出口の白線をまたぐ行為
走路外走行	7	コース外の走行、白線外の走行
ピットエンドの信号無視	15	赤信号中にコースイン
危険行為	審議による	故意による幅寄せ、追突、コントロールライン手前での急減速、タイム調整の為にコース内で停車、ルールを無視した全開走行など
メーターリセット	200	メーターのリセット、オドメーターと走行距離の非合致
ガス欠(Challenge)	200	車両保管場所まで辿り付けなかった場合。
ガス欠(Enjoy)	失格	車両保管場所まで辿り付けなかった場合。
車両規定違反	200	規格外車両での参加

16) 表彰式・章典

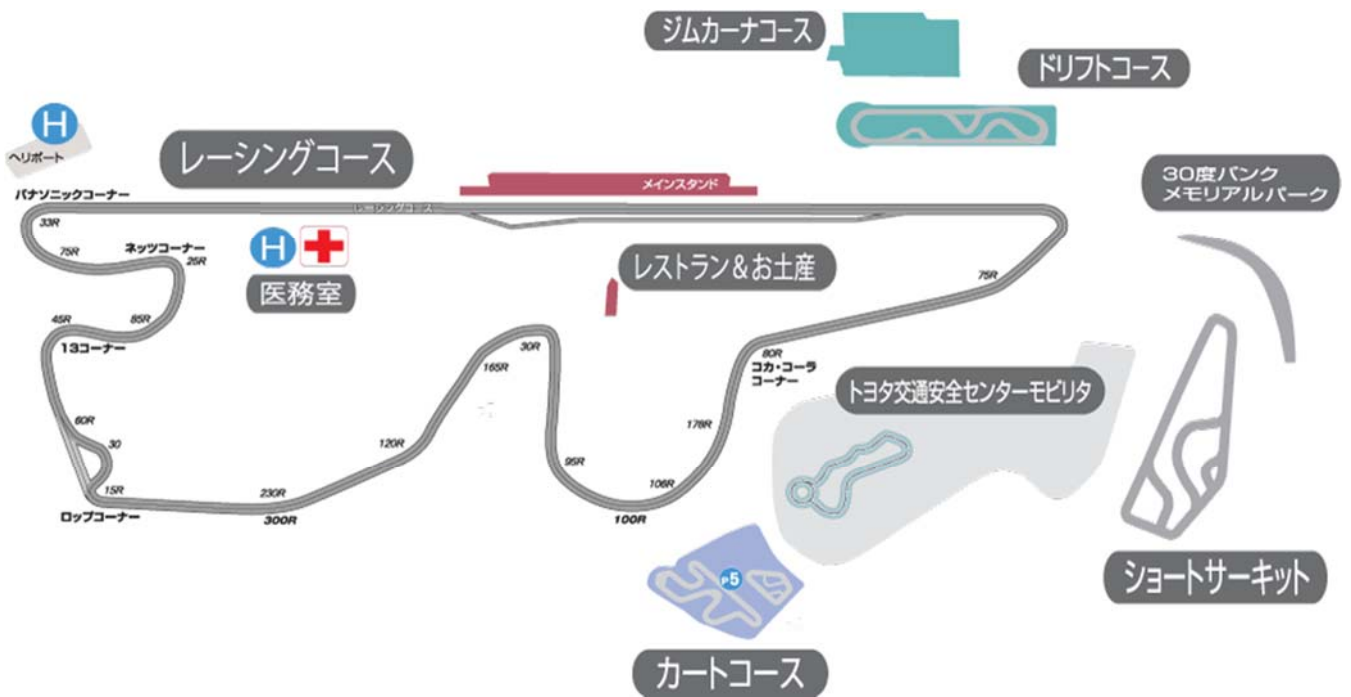
- ① 出走した全チームに順位を刻印したトロフィーを贈呈します。
- ② ガソリン部門・ディーゼル部門・HV 部門については、「クラス別表彰」、「部門優勝」、「各レース総合優勝」、「エコカーカップ総合優勝(「Master of Eco Car」)」となります。なおエコカーカップ総合優勝は両レースに参加したチームが対象となります。(下記構図参照) なお W エントリーとは、両方のレースに同一車両、同一チームで参加するものとし、尚且つゼッケン番号も同一であることが条件となります。
- ③ PHV 部門については、単独表彰となり、「Master of Eco Car」対象外クラスです。



17) コース図



18) 施設一覧



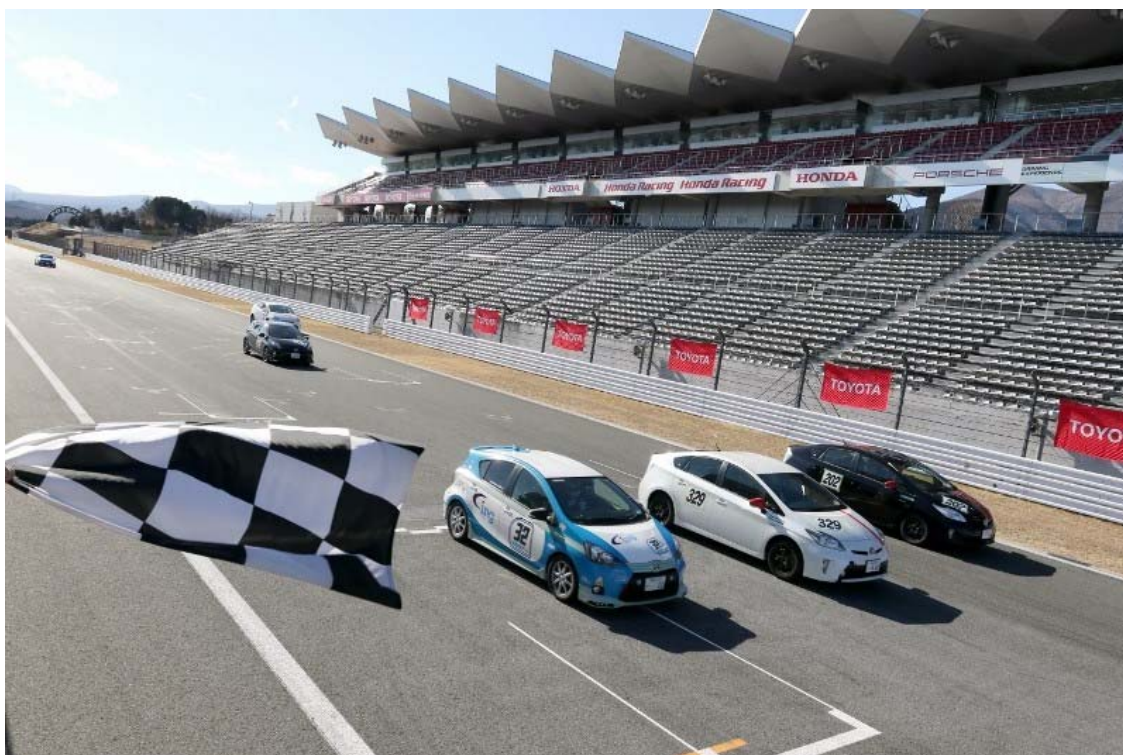
エコカーカップ参加の皆様へ

この度は、エコカーカップへご参加頂き誠に有難う御座います。

このレースのコンセプトは、低燃費技術が採用されている車両を使い、走行性能を追求し「いかに早く」・「安全に」・「低燃費で」走行できるかを競い合うとともに、ドライバーの運転技術向上とクルマへの理解を深めて、新たなるモータースポーツライフを発見することにあります。

富士スピードウェイでは数々の自動車競技を開催しておりますが、ハイブリッドカーを使用したレース形式は2010年にスタートし、歴史も浅く、未だ試行錯誤を繰り返して運営しています。運営面においても不適切な点などは変更修正を繰り返し参加者の皆様に充実した一日を提供できるよう努力してまいります。

レース運営方針の第一に、「より安全に参加できるレース！」を念に現在もテスト走行を重ねています。然し実際レースを行い初めて修正点を発見したり現場で修正や変更が必要とされることがあるかと思われませんが、今後のモータースポーツ発展を願い、みなさまのご協力とご理解の程宜しくお願い申し上げます。



富士スピードウェイ株式会社
エコカーカップ実行委員会

